

令和元年度から令和4年度までの常任委員会活動 評価総括表

委員会名(防災県土整備企業常任委員会)

○基本方針 ～住民本位の政策決定と政策監視・評価の推進～ 議会の本来の機能である政策決定並びに知事等の事務の執行について監視及び評価を行います。

防災県土整備企業常任委員会		各委員会(理事)の評点の平均点				委員会活動の振り返り(委員会討議の結果の概要)
番号	評価対象取組	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
1	委員会審議の活性化	3.3	3.4	4		<ul style="list-style-type: none"> <li>・議員間討議の中から附帯決議をすることについて意見がまとまったことから、議員間討議は活発にできたと評価できる。(令和3年度)</li> <li>・県土整備部の若手職員で構成する勉強会のメンバーと本委員会委員とで意見交換を行う機会があったが、議員の興味を引く有意義な項目が多数あり、有益な機会となった。(令和2年度)</li> <li>・所管事項として調査した内水面漁協への協力金の問題について、大きな変化が見られた(令和2年度)</li> </ul>
2	年間活動計画	3.7	3.5	3.8		
3	重点調査項目	3.6	3.8	3.9		<ul style="list-style-type: none"> <li>・重点調査項目の、「新型コロナウイルス感染症等にかかる危機管理について」は、全協でも協議することになったこともあり、所管の委員会だけで議論するにはテーマが大きく、設定に課題があった。(令和3年度)</li> <li>・重点調査項目の、「RDF焼却・発電事業の総括について」は、活発に議論し、意見をしっかりと反映することができた。(令和3年度)</li> </ul>
4	県内外調査	4.6	3.5	3.3		<ul style="list-style-type: none"> <li>・県外調査は、最後まで実施できないか検討したが、できなかったことは残念だった。(令和3年度)</li> <li>・コロナ禍の中、県外調査が中止となり残念であったが、県内調査については防災・減災・道路整備等についてきめ細かに見聞できて有意義なものとなった。(令和2年度)</li> <li>・委員有志で三重県総合図上訓練を視察したが、有意義な機会となった。(令和2年度)</li> <li>・県内外調査について、視察先の現状等を十分に把握でき、大変充実した調査となった。また、委員会での議論だけでなく、現場に行くことの大切さも感じた。(令和元年度)</li> </ul>
5	当初予算に係る調査・審査	3.7	3.8	4.1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・流域治水をテーマとした参考人招致を実施したが、来年度予算の審議にも資する、時宜を得た有意義な取組であった。(令和2年度)</li> <li>・河川の堆積土砂撤去や道路の区画線について委員会で議論したことが、令和3年度当初予算に反映されて良かった。(令和2年度)</li> </ul>
6	総合計画に係る調査・審査	3.7	3.4	3.9		
7	個別の行政計画に係る調査・審査	3.4	3.6	3.9		

○基本方針 ～開かれた議会運営の実現～ 議会活動を県民に対して説明する責務を有することに鑑み、積極的に情報の公開を図るとともに、県民が参画しやすい開かれた議会運営を行います。

番号	評価対象取組	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	評価の視点(自由記載抜粋)
1	参考人制度等の活用	—	4.3	—		<ul style="list-style-type: none"> <li>・流域治水をテーマとした参考人招致を実施したが、来年度予算の審議にも資する、時宜を得た有意義な取組であった。(令和2年度)【再掲】</li> </ul>
2	請願への対応					

\*評価は5点満点です。(5点「ほぼ完璧にできた」「十分満足」、4点「通常よりも良くできた」「例年よりも良くできた」「概ね満足」、3点「通常どおりできた」「例年どおりできた」「普通」、2点「あまりできなかった」「例年よりもできなかった」「やや不満足」、1点「ほとんどできなかった」「不満足」)